

大磯町立中学校給食導入に向けての保護者説明会報告

1. 目的

教育委員会で策定した「中学校給食の導入に係る教育委員会検討会意見書」について、小・中学校の保護者に説明し、意見や要望を聴取するため。

2. 日時

○第1回：平成26年7月6日（日）午後7時～午後8時15分（大磯小学校体育館）

※参加者 27名

○第2回：平成26年7月9日（水）午前10時～午前11時45分（保健センター2階研修室）

※参加者 57名

○第3回：平成26年7月13日（日）午後7時～午後8時20分（国府小学校体育館）

※参加者 19名 計 103名

3. 説明会の流れ

- ・検討会意見書の概要説明（スライドにて投影し説明）
- ・質疑応答
- ・自由意見様式による意見収集

4. 主な意見・要望

【意見書に賛成】

- ・出来るだけ早く導入ができて現実的なものならデリバリー方式でも良い。
- ・給食は賛成です。家では嫌いで食べられない物が、給食でみんなと一緒に食べられるようになったと実感している。中学校へ行ってもバランスが良く成長に良いものを提供してくれるとうれしい。

【意見書に一部反対】

- ・給食か弁当か選択できるほうが良い。家庭の事情で作れない方もいるので、そういう方はデリバリーを利用して、作れる方は弁当を作るなど選択方式にはできないか？
- ・全員が同じ物を食べることが食育とは思わない。
- ・アレルギーのある子ども、好き嫌いのある子どもそれでも、自分が好きな物をみんなで食べればそれが食育につながるのではないか？
- ・原則、全員給食と説明があったが、アレルギー対応が必要な方は、選択制も可能とあるが、広く解釈をしてもらって、宗教上の理由や、いろいろな背景をもった子どもがいたりするので、アレルギー対応に留めず選択に含みを持たせてほしい。
- ・同じ物を食べることを無理に強制しなくてもよいのではないか？全員給食にこだわることは説明では納得がいかなかった。

【意見書に反対】

- ・アンケートで子ども達はお弁当が良いという意見が多かったのに全員給食はおかしい。子どものことを一番に考えるべき。
- ・中学生ともなると、家庭弁当がコミュニケーションの手段となっているので、重要。
- ・自校方式。財政のこともあり、実現するまでの間はデリバリー方式でも良いからすぐに始めてほしい。これが懇話会での意見。

【意見・要望】

- ・中1と中3では食べる量が違う。工夫が必要では。
- ・試行的にやってみてはどうか
- ・デリバリー方式で考えているということを知らない保護者が多いと思う。周知をすべきだ。デリバリー方式でやるならアンケートを取って多くの保護者に聞いたほうが良い。
- ・給食を希望する保護者は多かったが、小学校のように自校方式をイメージしていたと思う。
- ・給食費など家庭の負担はどのくらいになるのか。